

経正

シテ
松木千俊

まゆみ 檀の会 ろうそくそく能

特別公演

令和五年十月三十一日(土) 午後四時始(開場午後三時) 於 盛傳寺



仕舞

融

番組

松木 崇俊

地謡

早津 光義
佐川 勝貴
武田 友志
海野 義元

連吟

賀茂

雪入 勘次
仁井田 邦通
児玉 光男

依田 明子
関川 豊春
村石 武志
近藤 豊

能

経正

シテ 松木 千俊

ワキ 村瀬 慧

大鼓 柿原 孝則
小鼓 曾和 伊喜夫

笛 斉藤 敦

後見 松木 崇俊
武田 友志

地謡 早津 光義
海野 義元
木村 保

佐川 勝貴
小早川 修
大松 洋一

休憩十五分

終了予定 十八時

あらすじ

経正は、平清盛の弟・経盛の息子です。幼いころより守覚法親王の寵愛を受けた経正は琵琶の名手でもありました。経正は都落ちする際、仁和寺を訪れます。親王より賜った琵琶「青山」を戦場に持参するより、返上しようというのです。そこで親王と歌を交わり、今生の別れを惜みます。仁和寺の僧都・行慶は都を離れる経正を桂川の畔まで見送るのでした。そののち一の谷の戦いで経正は討ち死にします(『平家物語』巻七「経正都落」)。この後日譚が能(経正)です。仁和寺の僧都・行慶(ワキ)は、一の谷で亡くなった経正を弔うため、「青山」を手向けて管絃講(音楽を演奏する仏事)を催します。すると、その夜更けに経正の霊(シテ)が現れます。弔いのありがたさに出現したことを述べ、経正は手向けられた青山を奏で、夜遊に舞います。しかし、敵に対する憤りの心が起こった経正は、修羅道に堕ちて戦いに苦しむ姿を見せます。その身を恥ずかしく思っで見られまいと燈火を吹き消し、消えていくのでした。

檜書店能サボより抜粋

【チケット料金】

| 席種 | 料金 (税込) |
|-------------|---------|
| 特別席 (特典付) ※ | 10000 円 |
| SS席 (正面最前列) | 8000 円 |
| S席 | 7000 円 |
| A席 ■ | 7000 円 |
| B席 | 4000 円 |
| C席 ■ | 3000 円 |
| D席 | 3000 円 |
| E席 | 2000 円 |
| 学生席 | 1000 円 |

※限定 10 席
お土産・記念撮影付
■座布団席
それ以外は椅子席



長野市吉田二一三十二一十
盛傳寺

長野駅より専用シャトルバス運行
往復500円(要予約)

※駐車場はご利用できません。



一般社団法人
松の会
Matsunokai
TEL・FAX ●03-6767-5555
E-mail ●matsunokai@gmail.com
HP ●http://matsunokai.com/



お申し込みフォーム